

令和5年度 第3回静岡市入札監視委員会議事概要

開催日時	令和5年11月27日（月）午前10時00分から午後11時25分まで
開催場所	静岡市役所 静岡庁舎新館10階 契約課入札室 及び ZOOMを使用したオンライン開催
出席委員	委員長 坂本 真樹 （静岡大学） 委員 浅野 裕史 （公認会計士） 狩野 美知子 （しずおか市消費者協会） 中村 光央 （弁護士） 仁木 将人 （東海大学）
説明のため出席した 職員（審議順）	環境局 ごみ減量推進課 建設局 道路部 葵北道路整備課 建設局 道路部 葵南道路整備課 上下水道局 下水道部 下水道維持課 都市局 建築部 住宅政策課 都市局 建築部 公共建築課
事務局	契約課長、外5名
議題・報告	1 入札方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査 （抽出事案は別紙1のとおり） 2 低入札価格調査結果について 3 入札参加停止等措置の状況について
委員からの意見・質問 等とそれに対する回答	別紙2のとおり

抽出事案一覧表

No	件名	入札・契約方式	担当課
①	令和5年度 環ご第1号 一般廃棄物最終処分場埋立地等造成工事	一般競争入札 (総合評価方式 技術提案型 (WTO))	ごみ減量推進課
②	令和5年度 葵北市公災第2号 足久保八十岡敷地線道路災害復旧工事	指名競争入札	葵北道路整備課
③	令和5年度 葵南市災第1号 平山則沢線(則沢亀石橋)道路災害復旧工事	随意契約	葵南道路整備課
④	令和5年度 下維委第2001号 中島処理区外管路施設耐震診断(詳細診断)業務 委託	制限付一般競争 入札	下水道維持課
⑤	令和5年度 都建住委第9号 有東団地用地測量業務委託	指名競争入札	住宅政策課
⑥	令和5年度 環環研工委第1号 仮称環境保健研究所建設工事監理業務委託	随意契約	公共建築課

1 入札方式別工事・業務委託に係る発注案件の審査	
① 令和5年度環ご第1号 一般廃棄物最終処分場埋立地等造成工事	
質問	回答
<p>Q1（浅野委員） 技術提案1が遮水工、技術提案2には安全性というそれぞれ、12点と9点の違いについて具体的に伺いたい。</p>	<p>A1（ごみ減量推進課） 各社からの技術提案については、公表対象となっていないため、詳細についてはお答えできませんが、提案の中で、工夫が有効である、現場の条件に適していると1点。工夫が顕著であると2点。それぞれの提案に他の会社に対してその工夫が優位である、他に比べて優位であるとなると3点を算定しています。</p>
<p>Q2（仁木委員） 評価点について綺麗に3の倍数になっているのは何故か。</p>	<p>A2（事務局） 点数の割り振りにつきまして、なぜ3点ずつの単位かというところですが、技術提案の点数をさらに換算する、換算表というものがありますので、それをまた改めて各委員のところにお配りさせていただきたいと思えます。</p>
<p>Q3-1（狩野委員） WTOという言葉の意味を知りたい。</p>	<p>A3-1（事務局） 政府調達に関する協定というものが存在しまして、22億8,000万円以上の建設工事については、WTOと呼ばれる政府調達の案件の対象になります。</p>
<p>Q3-2（狩野委員） 28億をという超えるものが、7者全て同じ入札価格が1回目に出てくるのか、さらに調査基準価格と全く一致している事が市民から考えると、すごく不思議な感じがするが、どうでしょうか。</p>	<p>A3-2（ごみ減量推進課） 今回は、入札の予定価格を事前公表しております。仮に入札が不調となった場合、工期が取れなくなる恐れがあります。現在運用している埋立地の状況もあるので、なるべく工期を稼ぎたいという思いから、不調になるのを防ぐために事前公表としています。調査基準価格につきましては、ホームページで計算方法を公開するものです。各業者さんもそれなりの計算は理解されているので、</p>

<p>Q3-3 (狩野委員) 事前公表は、予定価格を公表しているということか。</p> <p>Q3-4 (狩野委員) 金額が大きい工事を取りたい、だから全者金額が一致して、その上で、技術提案で勝負するという形の結果であったということか。</p> <p>Q3-5 (狩野委員) このような事ってよくあることですか。</p> <p>Q4-1 (中村委員) 技術提案書というのは少なくともその工事に関する工法も含めた、提案書になってくるはずですが、工法も技術のやり方も違ってなぜ金額が一緒になるのか、それが不思議ですけど、それはどうしてそうなるのでしょうか。</p> <p>Q4-2 (中村委員) 施工方法が違うのにも関わらず、金額が全く一緒というのは、これはどういうことですか。業者間で調整しているように見えるが。</p>	<p>値段で勝負するのではなく、技術提案で勝負してきたのではないかと推測されます。</p> <p>A3-3 (ごみ減量推進課) そのとおりです。</p> <p>A3-4 (ごみ減量推進課) そのように推測されます。</p> <p>A3-5 (ごみ減量推進課) このような大きい金額の工事自体が非常に珍しいのかなと思います。</p> <p>A3-5 (事務局) 昨年度、本件と同じく 30 億円ぐらいの規模の工事がありましたが、同じように、公表されている調査基準価格を推測して、かけて、同金額というものが存在しました。</p> <p>A4-1 (ごみ減量推進課) 金額は我々の提示している設計書から割り出しているものでして、実際の費用とは違うが、各社で工夫を凝らしているために、入札してきているのかなと思います。</p> <p>A4-2 (ごみ減量推進課) 金額については、技術提案は左右されません。おそらく積算すれば、その金額は超えてくるかと思われま。現実的に最終処分場という施設そのものがかなり全国的にも少ない工事、そういった中で、事業者としてはこの経験を求められる工事なので、実績として欲しいというところがかなり多くあるかとは思っています。そういった意味で赤</p>
---	---

	<p>字覚悟とまでは言いませんが、計算方式で基準調査価格が出ている中で、その範囲でやれるという部分での金額設定をしているので、この額で入れてきているというのが実態かなと想定されます。</p> <p>A4-2（仁木委員）</p> <p>各社の技術提案における工法については確かにそれぞれ違うかもしれないけれども、お金の積算に関しては、各社が予想できる状態にあったから、共通であるっていうこと。その工法が違うにも関わらず予定価格をみんな揃えたという理由は各社色々な事情があると思いますが、そこに談合があったかどうかというのはこの場で多分答えは出ない話だと思います。</p> <p>A4-2（事務局）</p> <p>9ページをご覧ください。左下に予定価格、事前と書いてあります。まず、予定価格が30億6,150万円と予定価格が事前に公表されております。その下に、今回総合評価方式なので、調査基準価格税抜きというのが、28億1658万円という金額が書かれております。この30億に92%掛けると、この28億になりますが、先ほど申し上げた今回入札に参加している業者は、全国の手企業になります。静岡市ではこういった工事はすごく稀ですけど、全国的に、こういった処理場の入札が行われた時の調査基準価格が何%で設定されたかなんていうのは各社、研究されていると思います。そういった中で、75%から92%の間で、こういう工事は92%で最大のところで、設定されることが多いなんていう入札の経験があると思います。そのような状況において、各社が92%を狙ってきたということが、事務局としては想定されます。</p>
<p>② 令和5年度 葵北市公災第2号 足久保八十岡敷地線道路災害復旧工事</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>Q1（浅野委員）</p> <p>受注者である株式会社志田建設は、「指名業者を選定した考え方」の中でいうと、</p>	<p>A1（葵北道路整備課長）</p> <p>①と②と共に株式会社志田建設は該当しますが、応急工事を行っていただいたというところで、</p>

<p>①、②どちらに該当するのか。</p> <p>Q2-1（坂本委員長） 今年度の入札に関して、この台風 15 号関係の工事が非常に多く見られ、その中でやはり今回のように、業者さんがいろんな工事に行っているために辞退をされるという場面が非常に多く見られているところであり、今後台風もどうなるかわからない中で、今後も業者の獲得ができるのかどうかという見込みはあるか。今回は 3 者応札してもらったが、全者辞退されてしまうこともあるのか。</p> <p>Q2-2（坂本委員長） 最初に応急措置で頼んでもらって、その後復旧工事を受注してもらったということか。</p> <p>Q2-3（坂本委員長） 台風などが増えれば、応急措置のときに備えて、どの業者に頼むというようなことが決まっているのですか。</p>	<p>最初に選定させていただきました。</p> <p>A2-1（葵北道路整備課） 委員のおっしゃるとおり、今後、そういうケースも想定されます。今回は株式会社志田建設が応急工事をして、本件についても受注意欲があったというところで、応札いただいたと考えられます。</p> <p>A2-2（葵北道路整備課） そのとおりです。</p> <p>A2-3（葵北道路整備課） はい。出動要請書というものを市から発出させていただき、業者さんに応急対応していただくこととなっています。</p>
<p>③ 令和 5 年度葵南市災第 1 号 平山則沢線（則沢亀石橋）道路災害復旧工事</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>Q1（浅野委員） 県が工事を発注する際に、今回の工事もやらなければいけないという事は決まっていたと思う。市が随意契約で発注するのであれば、県が最初に発注するときに、まとめて発注すればよかったのではないか。</p> <p>Q2-1（狩野委員） 今回、入札が 2 回不調に終わり、3 回目の金額で予定価格と一致したという事だが、最初から積算できていたけれども、高めの金額で応札してきたということか。</p>	<p>A1（葵南道路整備課） まとめて発注することができれば良いとは思いますが、今回は、管理の範囲が別で分かれており、それぞれ管理しているところを、別途発注している状況です。発注の仕方については、今後の課題ではあると考えております。</p> <p>A2-1（葵南道路整備課） 今回、川の中の工事ということで、その川の水を切り回すために、大きなパイプで水を切り回すような仮設の工事が含まれております。使用するパイプは、市で持っている物がありましたので、</p>

<p>Q2-2 (狩野委員)</p> <p>そのパイプを貸し出すというのは、最初から条件として提示はされていたのでしょうか。</p> <p>Q3-1 (仁木委員)</p> <p>台風が増えてきているなどどこで被災して、国や県の復旧が速いのにに対して市の復旧については予算がなくて、まだ戻っていないみたいなどころが多く感じる。連続している堤防の一部が市の管理になって、その復旧が残ってたりとかしているのを見ると、同時期に工事発注すればもっと安くなるのではないかとも思う。何か建設的な意見があったら伺いたい。復旧に関しても、管理者同士で連携が取れるところは時期的なものとか連携してやると、全体の工事費を下げられるのかなというように思う。</p>	<p>それを貸し出すというような積算の内容になっておりました。しかし、受注者が最初の入札時にはその金額も含めて応札してしまっていたのではないかという事が推測されます。</p> <p>A2-2 (葵南道路整備課)</p> <p>確かに図面や設計書に、きちんと記載しておけばよかったのですが、若干、示し方がわかりにくい状態ではあったのかもしれない。</p> <p>Q3-1 (葵南道路整備課)</p> <p>隣接して被災した箇所については、一度に直してしまうというのが一番良いかとは思いますが、今後、復旧工事の発注をどのようにしていくのかは、今後の課題です。</p>
<p>④ 令和5年度下維委第2001号 中島処理区外管路施設耐震診断(詳細診断)業務委託</p>	
<p>質問</p>	<p>回答</p>
<p>Q1 (浅野委員)</p> <p>入札結果表を見ると最低制限価格を下回ったところがかかなりあるということから、予定価格というのが高すぎたのではないかと感じますが、いかがでしょうか。</p>	<p>A1 (下水道維持課)</p> <p>今回業務の中には、耐震診断業務がメインではございますが、現地調査業務も含まれております。その中の一部につきまして、今年度から初めて見積価格というものを採用しております。当該作業は、再委託になる可能性もあるため、民間の中での契約交渉も一つの要因と思われまます。</p> <p>市の見積価格というものは、参考見積を5者ほど取りまして、その価格の平均値の方を採用させていただいております。そのため、各業者さんの中で、各社で取られた見積価格を、そのまま採用していると思われまます。よって、平均値を当然下回</p>

<p>Q2 (狩野委員)</p> <p>コンサル業務の場合については、予定価格を出す場合は、いくつかの業者から参考見積をあらかじめ取って計算しているということか。</p>	<p>る場合もございますし、逆に上振れする可能性もあると考えおります。</p> <p>A2 (下水道維持課)</p> <p>今回の業務の内訳として、耐震診断業務と、カメラ調査業務、腐食劣化調査業務という3つの業務があります。その中の耐震診断業務につきましては、日本下水道協会という公のものが発刊している下水道用の標準設計歩掛がございます、こちらで積算しています。カメラ調査の方につきましても、日本下水道協会が発刊しております下水道施設維持管理積算要領という一般的な積算書があります。こちらの二つの業務につきましては、一般的な積算金額となりますので、業者さんも、積算を算出できると推察されます。しかし、腐食劣化調査業務につきましては今回のような、一般的な積算書が無い作業の場合は、見積による積算となります。</p>
---	--

⑤ 令和5年度 都建住委第9号 有東団地用地測量業務委託

質問	回答
<p>Q1-1 (浅野委員)</p> <p>指名業者を選定した考え方として、「当課発注同種業務と調整しながら7者を設定」ということですが、この「当課発注同種業務と調整し」というのはどういうことか。</p>	<p>A1-1 (住宅政策課)</p> <p>別の団地で同じように測量した業務がありましたので、それぞれ業者を重複しないようわけて指名しました。</p>
<p>Q1-2 (浅野委員)</p> <p>くじを引いたという事ですが、今回は対面の入札であったということか。</p>	<p>A1-2 (事務局)</p> <p>電子くじというものがございますので、そちらで行いました。</p>
<p>Q2-1 (狩野委員)</p> <p>特殊技術で筆の整理を予定していると思いますが、元々市の土地であるのにも関わらず筆の整理が必要という意味がよくわからない。</p>	<p>A2-1 (住宅政策課)</p> <p>39 ページ位置図をご覧ください。東西の大きな通りについては、道路の部分をきちんと整理してございます。しかし、この敷地の中にある、真ん中に2本取っているような道路、それから一番北側の道路の部分については、整理して市道部分を道路の部局に移管したいと考え、本業務の中に含</p>

	めました。
⑥ 令和5年度 環環研工委第1号 仮称環境保健研究所建設工事監理業務委託	
<p>Q1-1（浅野委員） この建物を設計したのも株式会社内藤建築事務所なのか。</p> <p>Q1-2（浅野委員） 設計する段階で、監理業務も含めて発注すればよかったのではないかと思うが、どうして分けて発注しているのか。</p>	<p>A1-1（公共建築課） はい、そのとおりです。</p> <p>A1-2（公共建築課） 基本設計、実施設計という形で段階的に設計を進めていく中で、実際工事監理自体は、出来上がる建物のボリュームによって委託料が変わってきます。設計がまだ不明確な状態では積算ができないことから、設計を済ませた上で、その建物における工事監理業務の委託料を算定した形で発注しました。</p>

2 低入札価格調査結果について	
質問	回答
案件なし	

3 入札参加停止等措置の状況について	
質問	回答
質疑なし	